

平成30年度 自己評価・学校関係者評価に係る評価結果等報告書

このとおり、学校評価について報告いたします。

高松市立中央小学校 校長 大出 茂晴

	評価項目	評価 4段階	自己評価結果と改善方策等	学校関係者評価結果および意見等
1	確かな学力の育成に関すること (学力向上、キャリア教育、英語教育、情報教育等)	3	国・県の調査において、ほぼ全ての教科において、国・県の平均正答率を上回っており、基礎学力の定着が見られる。英語教育の充実、プログラミング教育の構想等、移行期の対応を図る。	[学校運営協議会委員より] ○児童は落ち着いて学校生活を送れており、授業中も積極的に学習をしている。
2	豊かな心を育てる教育の推進に関すること (道徳教育、小中一貫・連携教育、ふるさと教育、読書活動、体験活動等)	3	「夢プロジェクト」や「いのちの先生」などの外部講師による講話が効果的であった。道徳科の授業についての情報交換や授業公開を充実させることで、指導力の向上を図る。	○朝の集団登校では、整然と並んで安全に登校できている。あいさつも、リーダーが率先して行うため、ほとんどの児童が気持ちのいいあいさつができています。
3	生徒指導の充実に関すること (いじめ、不登校対策等)	3	生徒指導部会を中心に共通指導を行った。日常観察、アンケート等により、いじめの早期発見に努めた。いじめや不登校傾向等の情報のさらなる早期共有、早期対応を組織的に行っていく。	○教員の指導にも工夫が見られ、和やかで落ち着いた雰囲気児童とのやりとりが進んでいるので、続けてほしい。(学習参観)
4	運動に親しむ習慣づくりと体力の向上に関すること (体力・運動能力の育成)	3	「中央オリンピック」と題したアスレチック的な運動を全校生に奨励し、成果を自己評価できるよう工夫した結果、児童の体力づくりへの意欲が高まった。	○防災訓練では、児童が一生懸命に取り組んでいた。今後も、学校・家庭における防災意識の一層の高揚を期待したい。
5	食育の推進と心身の健康づくりに関すること	3	栄養教諭と連携した食育を行っており、給食の巡回指導等を通して児童の食に対する関心が高まってきている。「ノーメディアデー」等を契機に、家庭でのネット・ゲームの使用について啓発する。	○学校における働き方改革を応援したい。学校行事や地域との連携行事についても、協議を行い、精選していく中でそれぞれの内容を充実させていきたい。
6	人権教育の推進に関すること	3	人権月間を設け、各学年団で学習の成果を人権集会で発表した。児童会主催の取組と連動させ、子どもたちの人権意識を高めることができた。日常の指導を通して、児童の豊かな人権感覚を育てたい。	△6年生が学力面やボランティア活動で学校のよきリーダーとしてがんばっていることがよく伝わってきた。他の学年の様子はどうか。今後は、それをよき伝統・学校文化として下級生に伝えていってほしい。
7	特別支援教育の推進に関すること	3	コーディネーターを中心に、支援の必要な児童についての共通理解の場を設定し、一人一人の学習の充実や生活の自立を支援した。	△児童の発表の声が全体的に小さい。自尊感情も高まりつつあるので、自信をもって自分の考えを発表できる子どもを育ててほしい。
8	教員の資質向上と教育指導体制の充実に関すること	3	対話を重視した授業の日常化を図った。全員1回の授業公開を行い、数名のグループで参観し合い、互いの指導力の向上を図った。	△運動場の校舎側のおうとつがやはり気になる。繰り返し市教委に要望し、安全で気持ちよく使用できる運動場にしてほしい。
9	安心・安全で質の高い教育環境の整備に関すること	3	地域との協働による合同防災訓練や警察と連携した防犯訓練の実施により、児童・家庭・地域の危機管理意識が高まった。	
10	家庭や地域との連携・協働に関すること	3	学校・学年だより、ホームページ、学校評価アンケートを通して、連携を図った。今後は、学校運営協議会を核に学校支援・協働の体制をさらに充実させたい。	
11	夏季休業日の短縮に関すること	3	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の復習を中心に個に応じた指導を充実させたり、児童との直接的な対話の時間を確保したりして、2学期のスムーズなスタートを切ることができ、その後の落ち着いた学習につながった。 ・マイ・スタディでは、落ち着いた環境を整え、基礎学力を定着させることができた。 	
	・学力の定着(補充的な学習の充実)	3		
	・教師と子どもが向き合う時間の確保	3		
	・ゆとりある教育課程の展開(ゆとりある学習進度等)	3		
12	働き方改革・業務改善に関すること	4	・未来プロジェクト(働き方改革の推進組織)によって、会議や行事を精選することで、ある程度、余裕をもって子どもに直接向き合う時間や授業の準備をする時間を増加させることができた。さらに、教職員の時間外勤務の時間も大きく減少した。	

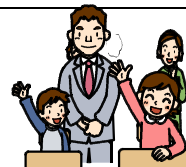
今年度の学校評価（最終評価）の結果について

高松市立中央小学校

学校評価は、主に教職員による評価、保護者による評価、児童による評価があり、その結果から成果と課題を明確にし、今後の教育活動の改善を図るものです。今年度、保護者の皆様のご協力を得て、中間評価（7～9月）と年度末評価（12～1月）の年間2回の評価を実施しました。

保護者の皆様におかれましては、アンケートへのご協力、ありがとうございました。今年度の結果をお知らせします。いただきましたご意見を今後の教育活動に活かしてまいります。

1 保護者からの主なご意見について



(1) 学校行事について

現在、次年度に向けて、行事や日課等の見直しを行っており、次年度は学習発表会を2月1日（土）の予定で調整中です。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(2) 学力の定着について

基礎学力だけでなく、例えば算数科の文章問題への対応や自分の意見や感想などを分かりやすく周囲に伝えることができるような豊かな表現力を育ててほしいといったご意見もありました。教員のさらなる指導力の向上を目指し、日々の授業をしっかりと行い、子どもたちの学力を育てたいと考えています。

また、マイ・スタディの取組について高い評価をいただきしており、今後もさらに個に応じた指導を充実させたいと考えています。そこで、先日配布しました平成31年度の時程表を運用する中で、金曜以外の曜日でも行う「ミニ・スタディ（仮）」を検討中です。

(3) 宿題について

学校では宿題も含めて「学年数×10分間」を目安として家庭学習を推奨しております。家庭学習の目的は、学習習慣を身に付けたり、授業とつないで学習内容を定着させたりすることが挙げられます。今後も、お子様への励ましの声かけや見守りをお願いします。

(4) 生徒指導について

「何があってもいじめをしてはいけないということをしかりと指導してほしい。」というご意見がありました。学校として全員で共通理解を図るとともに、共通実践をしていきたいと思えます。

(5) 環境整備について

運動場北側駐車スペースの凹凸について改善してほしいというご意見をいただきました。学校といたしましても、これまでも高松市教育委員会に改善をお願いしているところです。引き続き要望を行うとともに、子どもたちにとってよりよい環境づくりに努めてまいります。

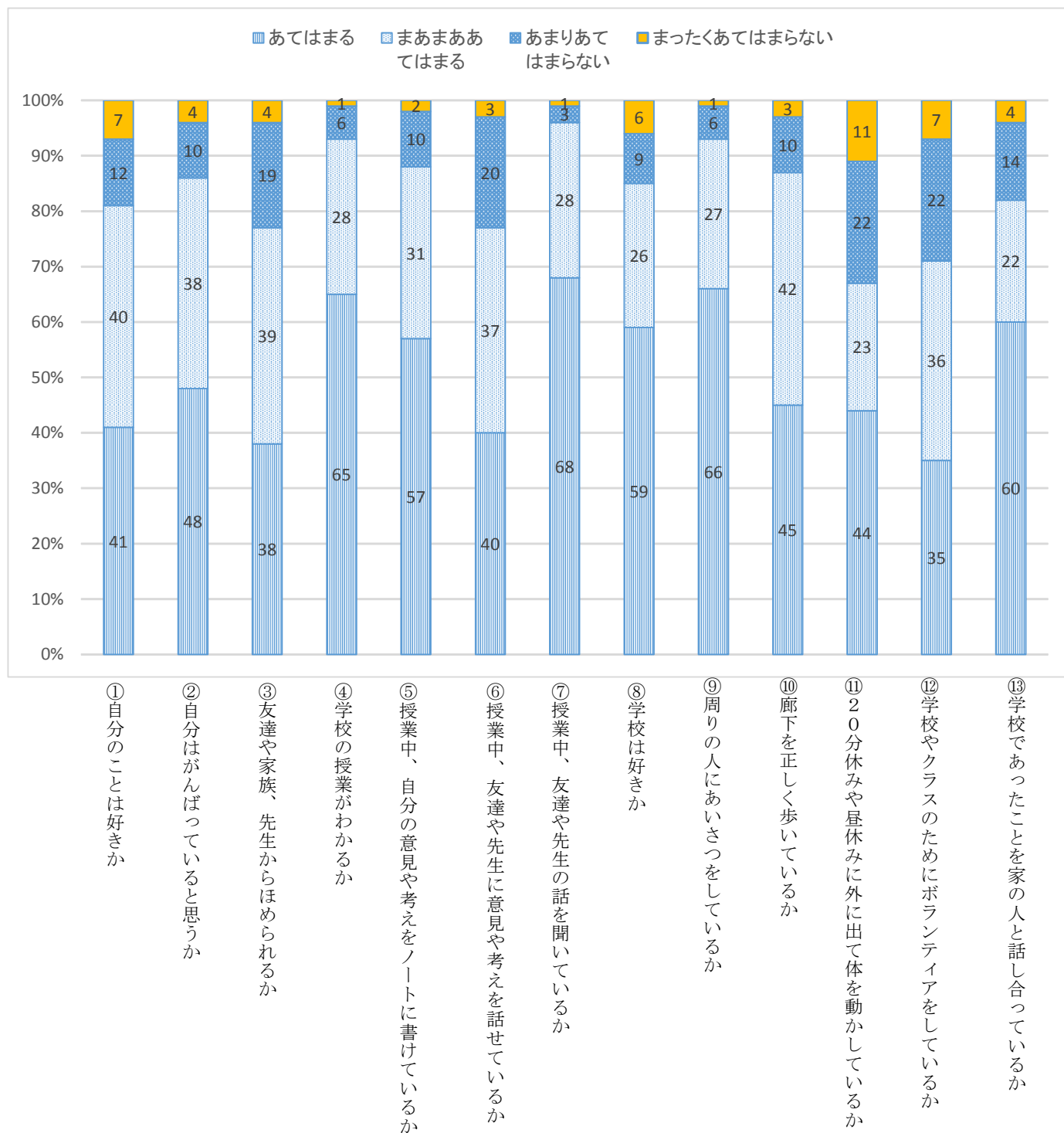
なお、青空教室等のお車でのお迎えなど、校内に自動車を乗り入れる際には、最徐行で周囲の安全に気をつけて運転くださいますようお願いいたします。

(6) 学校からのお知らせについて

行事や授業の準備物等について、できるだけ早めに知らせしてほしいというご意見がありました。全校に関わる行事につきましては、できるだけ早くお知らせしていますが、クラスマッチ等の学年団行事につきましては、クラスごとの学習の進捗や天候等の諸事情により、直前の案内になってしまうことがありますことをご了承ください。

今後も手紙とPTAメールを効果的に使いながら、保護者の皆様にわかりやすい情報提供を心がけてまいります。

2 児童の評価結果について

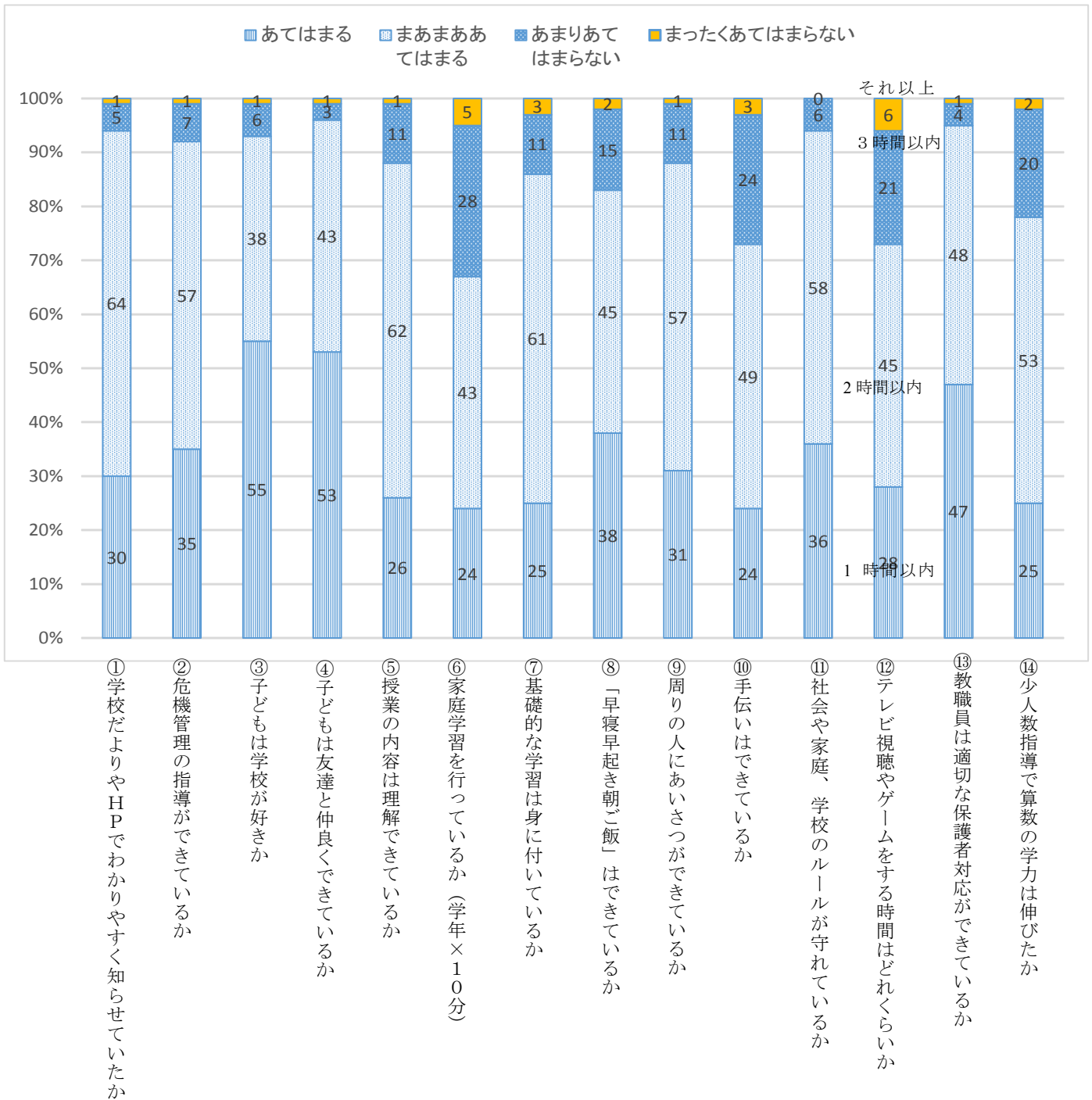


【評価結果の考察】

肯定的な回答率（「あてはまる」「まあまああてはまる」）が高かったのは、設問④「学校の授業がわかるか」、設問⑦「授業中、友達や先生の話を聞いているか」⑨「周りの人にあいさつをしているか」であり、いずれも90%大きく超えています。多くの子どもたちが授業に集中して取り組んでいることがうかがえます。あいさつについては、保護者・地域の皆様の見守りのおかげだと考えています。

反対に、肯定的な回答率が低かったのは、⑪「20分休みや昼休みに外に出て体を動かしているか」③「友達や家族、先生からほめられるか」⑥「授業中、友達や先生に意見や考えを話せているか。」⑫「学校やクラスのためにボランティアをしているか」であり、やや低くなっています。対策として、外遊びを奨励したり、体育科の授業の充実を図ったりして、体力づくりへの関心を高めていきたいと思えます。さらに、授業を中心に、お互いに認め合いながら自尊感情を高めたり、子どもたちの表現力を伸ばしたりする取組の充実を図りたいと考えています。

3 保護者の評価結果について



【評価結果の考察】

保護者の皆様からは、設問数14個の内、10個において、肯定的な回答率（「あてはまる」「まあまああてはまる」）が80%を超えるなど、おおむね、高い評価をいただきました。特に、高かったのは、設問④「子どもは友達と仲良くできているか」設問③「教職員は適切な保護者対応ができていますか」であり、95%を超えていました。保護者の皆様のご理解・ご協力により児童の学校生活の充実につながっていると考えられます。

反対に、設問⑥「家庭学習を行っているか」の肯定的な回答率が67%、設問⑩「手伝いはできているか」73%と低い結果が出ました。加えて、設問⑫「子どものテレビ視聴やゲーム機の使用時間」については、27%の保護者が1日2時間以上テレビを観たりゲームをしたりしていると考えています。家庭での過ごし方について学校と家庭で連携を密にして、家庭での子どもたちの生活の充実を促していきます。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしく願います。